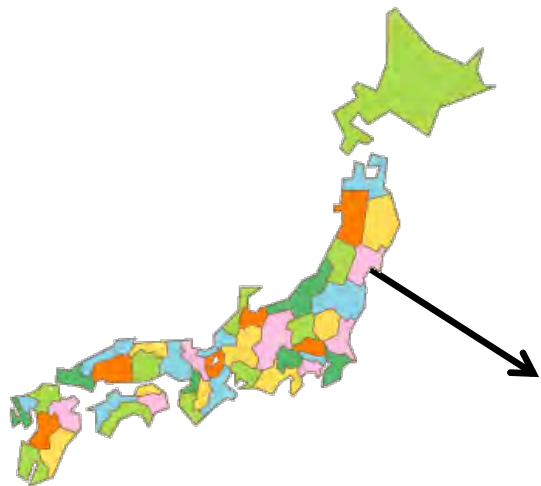


宮城県丸森町 筆甫（ひっぽ）地区



宮城の南端「丸森町」



福島県につきでる「筆甫地区」

【丸森町】昭和29年に2町6村が合併して誕生⇒8つの旧小学校区

- 人口11,398名（合併当時約29,000人いた人口も70年で60%減少）
- 高齢化率45.46%（宮城県内ワースト1位）

【丸森町筆甫地区】（旧 筆甫村）（数字はR7.8.30現在）

- 人口**400名**（※70年前約3000人,20年前1000人）
- 高齢化率**64.25%**
- 地区にあった中学校・小学校ともに閉校



丸森町筆甫地区の地域運営組織（RMO）

一社）筆甫地区 振興連絡協議会

◎組織の変遷

H22.4 筆甫まちづくりセンター
（旧筆甫公民館）の指定管理開始

H23.3 東日本大震災
福島第一原発事故・放射能汚染

H30.3 一般社団法人の法人格取得

R1.10 令和元年東日本台風

◎組織の特徴

- ・地区住民全員が組織の構成員
- ・筆甫公民館が取り組んでいた生涯学習事業を継続しながら地域自らが策定した「地区計画」を実践していく組織

組織図・体制図



丸森町筆甫地区の取り組み

◎ 筆甫公民館の事業を引き継いだ生涯学習事業

- 生涯学習講座（〇〇講座・教室）
- 敬老会/運動会/文化祭などの交流行事
- 各種団体活動支援（子ども会・老人クラブ・体育協会・婦人会など）



丸森町筆甫地区の取り組み

◎ 筆甫公民館の事業を引き継いだ生涯学習事業

- 生涯学習講座（〇〇講座・教室）
- 敬老会/運動会/文化祭などの交流行事
- 各種団体活動支援（子ども会・老人クラブ・体育協会・婦人会など）



講座・交流行事を行うだけでは地域の暮らしは変わらない。
人口も担い手も減っていく。地域課題は増えるばかり。

地域運営組織は

○自分たちの暮らしにとって必要な事業
（地域の暮らしを守る・攻める事業）

をやっていく必要があるのではないか？

高齢者の暮らし支援・お助け隊

高齢化率 60%を超える地区の暮らしを支援する体制構築

= これからも地域で暮らしていけるという安心感。

※秋田県横手市の雪かきなどの「共助組織」の事例を地区版にカスタマイズ



【振興連事務局】

支援メニュー

(A) 軽作業メニュー
『草むしり・家の掃除・整理整頓・ゴミ片付け（ゴミだし）・洗濯・水やり・電球交換・話相手・散歩相手・ペットの世話・お墓掃除・農作業（軽作業・補助作業）・庭木剪定・布団ほし 等』

(B) 労務作業メニュー
『草刈・伐採 等』

(C) その他
『送迎・買物代行など』

① 支援依頼

助けが欲しい住民
（依頼したい住民）

④ 代金支払い

③ 作業

② 作業依頼

作業者
（登録制が望ましい）

⑤ 代金支払い

※内容によって事務局が
作業者を決定

【高齢者への弁当宅配 サービスの実施】

◎毎週 1 回お弁当を作成し、希望した高齢者のお宅にお届け（有料）高齢者の方の安否確認や変わったことがないかなど話をすることの重要性。



【移動支援 空白地有償運送】

◎免許返納する高齢者の増加に備えて、地区内で有償運送を実施。

- ①地区内の移動支援（片道 1 0 0 円）
- ②福島県相馬市の病院など（片道1,000円）



【地域の困りごと イノシシなどの獣害対策】

◎地域自らで「箱罠」を作成し、地区内に設置しイノシシの捕獲に取り組む。地域の課題を自分たちで解決することの重要性。



買物弱者対策&地域商社機能 「ひっぽのお店ふでいち」 （移動販売）



◎ 筆甫地区の買物対策&地域商社機能 「ひっぽのお店ふでいち」

- ・ 平成30年5月20日オープン
- ・ 買い物弱者対策&地区住民の所得向上
- ・ 地区住民&地区出身者・筆甫地区を応援してくれる人など多くの方からの支援により店舗設置

◎ ひっぽの移動販売事業 **買い物と見守り**

- ・ 平成30年9月からスタート
- ・ 訪問先…地区内にて日中高齢者が家にいる場合はほぼ全世帯を回る。高齢者の方が元気に暮らしているか「安否確認」も同時に実施。

【暮らしを守るガソリンスタンド】

◎地区内にあるガソリンスタンドが廃業の危機
地域の暮らしを守るため、地域運営組織が事業承継を受けて、ガソリンスタンド事業に乗り出す



丸森町筆甫地区の取り組み

自分たちの暮らしを
自分たちで守る・支える事業の展開



自分たちの暮らしを守り支えるのは
自分たちであるという意識の醸成

このような意識を持った住民を
いかに増やしていくか